

復興庁・内閣府主催シンポジウム
「熊本地震からの復興を考える ～これからのコミュニティ再生を中心に～」
(東日本大震災・過去の災害の教訓を男女共同参画や災害時要援護者などの多様な視点から)

復興庁及び内閣府では、平成29年1月21日(土)に熊本市で、復興庁・内閣府主催シンポジウム「熊本地震からの復興を考える ～これからのコミュニティ再生を中心に～」(東日本大震災・過去の災害の教訓を男女共同参画や、災害時要援護者などの多様な視点から)を開催いたします。

本シンポジウムでは、避難所が閉鎖され、被災者の多くが仮設住宅(借上型仮設住宅を含む。)に移行されて数ヶ月、新たな住居で課題となると予想される「コミュニティの再生」を中心テーマとし、熊本地震、東日本大震災及び過去の災害からの取組・経験・知恵を共有し、男女共同参画や、災害時要援護者などの多様な視点を取り入れた今後の熊本の復興の在り方や災害への備え、更には、熊本での経験を共有し、東北の復興にもつなげていくことなどを目的としています。

奥山恵美子仙台市長による基調講演の他、熊本地震、東日本大震災等において、応急期の被災者支援対応をはじめ防災・復興に携わり、経験・知見を持つ有識者の方々に登壇いただき、パネルディスカッション等を行います。

皆様からの多数の応募を心よりお待ちしております。

記

1 開催日時・場所

日時：平成29年1月21日(土) 12:30～17:00

場所：熊本市男女共同参画センター「はあもにい」 〒860-0862 熊本市中央区黒髪 3-3-10

<http://harmony-mimoza.org/>

2 主催・共催・協力

主催：復興庁、内閣府(防災担当)

共催：内閣府(男女共同参画局)、熊本県、熊本市(予定)

協力：特定非営利活動法人全国女性会館協議会

3 主なプログラム

- 熊本市から挨拶
- 基調講演（仙台から熊本へ伝えたいこと）
 - ・ 仙台市長 奥山恵美子氏
- 事例発表・パネルディスカッション
コーディネーター
 - ・ 新潟大学危機管理室 災害・復興科学研究所（協力）教授
復興推進委員 田村圭子氏
- パネリスト
 - ・ 特定非営利活動法人インクルいわて 理事長 山屋理恵氏
 - ・ 公益財団法人せんだい男女共同参画財団 理事長 木須八重子氏
 - ・ 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 特任准教授 天野和彦氏
 - ・ 認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸 理事長 中村順子氏
 - ・ くまもと県民交流館パレア館長 中園三千代氏
 - ・ 熊本市男女共同参画センターはあもにい館長 藤井宥貴子氏
- ブース展示・交流会

4 対象者

- ① 熊本県内の復興・防災、男女共同参画、地域振興等担当部署の行政職員
- ② 熊本地震に対して活動しているNPO等の団体職員
- ③ その他の一般の市民の方々

5 応募方法

別添の応募用紙に必要事項を記入の上、期限までに電子メール又はFAXにて次の宛先に送付。

提出期限：平成29年1月13日（金）17:00（必着）

提出先：復興庁（シンポジウム担当）宛て

電子メール：fukkocho.danjohan@cas.go.jp

FAX：03-6328-0299

以上

<連絡先>

復興庁（シンポジウム担当） 秋田、佐々木

電話：03-6328-0274（直通）

FAX：03-6328-0299

電子メール：fukkocho.danjohan@cas.go.jp